

令和2年度

オホーツク管内  
社会教育委員連絡協議会

役員会(総会) 議案

## 令和2年度 役員会（総会）（書面会議）

### 1. 報 告

- (1) 報告第1号 令和元年度事業報告について
- (2) 報告第2号 令和元年度収支決算について
- (3) 報告第3号 令和元年度監査報告について

### 2. 議 事

- (1) 令和2年度活動方針（案）について
- (2) 令和2年度事業計画（案）について
- (3) 令和2年度収支予算（案）について
- (4) 役員を選考について

## 令和元年度 事業報告

### 1. 各種会議等

#### (1) オホーツク管内社会教育委員連絡協議会関係

##### ① 役員会（総会）

期 日：令和元年5月13日（月）

会 場：網走市 オホーツク・文化交流センター

出 席：36名

（来賓2名 委員長等13名 市町村職員19名 教育局1名 社会教育主事会1名）

##### ② 第1回役員選考委員会

期 日：令和元年5月13日（月）

会 場：網走市 オホーツク・文化交流センター

出席者：牛島委員長、奥村委員、岸委員、船木委員、久田会長

##### ③ 第1回三役会議

期 日：令和元年7月8日（月）

会 場：札幌市 かでる2・7

出席者 久田会長 今副会長 柳谷副会長 本間監事 西川監事

内 容 ・全国社会教育委員連合表彰、永年勤続功労社会教育委員表彰について  
・役員選考について

##### ④ 第2回三役会議

期 日：令和元年10月10日（木）

会 場：帯広市民文化ホール

出席者 久田会長 今副会長（代理：我孫子） 柳谷副会長 西川監事  
本間監事

内 容 ・オホーツク管内社会教育振興セミナーの研修テーマについて  
・オホーツク管内社会教育委員連絡協議会役員功績者表彰について

##### ⑤ 第2回役員選考委員会

期 日：令和元年11月10日（日）

会 場：遠軽町丸瀬布公民館

出席者：牛島委員長、岸委員長、船木委員、久田会長

⑥第3回三役会議

期 日：令和2年3月27日（金）

会 場：オホーツク・文化交流センター 会議室B

出席者：久田会長 今副会長（代理：我孫子） 柳谷副会長 西川監事  
本間監事

内 容 ・令和5年度北海道社会教育研究大会（オホーツク大会）に向けての  
資金準備について  
・令和2年度役員会（総会）について  
・役員の選考について

(2) 北海道社会教育委員連絡協議会関係

①第1回理事会

期 日：平成31年4月19日（金）

会 場：札幌市 かでる2・7

出席者：久田会長

②通常総会

期 日：平成31年4月19日（金）

会 場：札幌市 かでる2・7

出席者：久田会長、柳谷副会長、西川監事

③第2回理事会

期 日：令和元年6月14日（金）

会 場：札幌市 かでる2・7

出席者：久田会長 出席

④第3回理事会

期 日：令和元年7月8日（月）・・・議案なしのため中止

⑤第4回理事会

期 日：令和元年10月10日（木）

会 場：帯広市民文化ホール

出席者：久田会長

⑥第5回理事会

期 日：令和2年3月16日（月）

・・・新型コロナウイルス感染症の影響拡大の状況を踏まえ書面会議に変更

## 2. 研修事項

### (1) オホーツク管内社会教育委員連絡協議会関係

#### ①令和元年度オホーツク管内社会教育振興セミナー

期 日：令和元年8月25日（日）

会 場：雄武町 雄武町民センター

出 席：

研修テーマ：地域の学び人を支える地域人材と社会教育委員の役割

基調講演：「社会教育委員は楽しいですか やりがいがありますか、そしてあなたは成長していますか。」

講師 佐呂間町社会教育委員委員長 船木 耕二 氏

事例発表 ・おうむ夢プロジェクト理事長 石井 友藏 氏

・株式会社 神門 代表取締役 石井 弘道 氏

・雄武町子ども育成会 会長 四辻 裕二 氏

グループワーク：研修テーマについて、8つのグループに分かれて協議

#### ② 社会教育委員地区別研修【遠紋地区】

期 日：令和元年11月10日（日）

会 場：遠軽町丸瀬布公民館

出席者：社会教育委員29名 自治体社会教育関係職員ほか15名

研修テーマ：『これからの社会教育に期待すること』～社会教育委員の目線から～

基調講演：「子育てと社会教育のかかわり」

講師 札幌市教育委員会 委員 石井 知子 氏

グループ討議：次の世代に引き継いでいくために、これから社会教育委員としてどのように活動しなければならないかを考える。

#### ③ 社会教育委員地区別研修【北網地区】

期 日：令和元年11月24日（日）

会 場：訓子府町公民館

出席者：社会教育委員35名 自治体社会教育関係職員ほか 18名

基調講演：「人生100年時代を楽しむまちづくり」

講師 樋口 恵子 氏

（評論家・NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長）

グループ討議：テーマ1 「社会教育委員とは」

テーマ2 「学習活動を通じた地域の『絆』づくり」

(2) 北海道社会教育委員連絡協議会・全国社教連合関係

①第39回北海道市町村社会教育委員等研修

期 日：令和元年7月8日（月）～9日（火）

会 場：札幌市 かでの2・7

出 席：管内参加者21名

事例発表：「地域コミュニティの維持・復活と社会教育委員のかかわり」  
～社会教育と学校教育の連携・協働を進めるために」

発表者：釧路町、士別市、知内町、登別市、稚内市の社会教育委員

コーディネーター：北海道教育庁生涯学習課主幹 五十嵐 秀介 氏

分科会：グループワーク（研修主題に関してワールドカフェ方式で実施）

②第59回北海道社会教育研究大会（十勝大会）兼 全国社会教育委員連合北海道ブロック大会

期 日：令和元年10月10日（木）～11日（金）

会 場：帯広市民文化ホール、とかちプラザ

出席者：管内参加者68名

研究主題：「人生100年時代の地域づくりと社会教育」～持続可能な地域創生と  
社会教育委員の役割～

記念講演：「誰もが輝くプラチナ社会～人生100年時代の地域づくりと教育～」

講師 プラチナ構想ネットワーク会長 元東大総長

株)三菱総合研究所理事長 小宮山 宏 氏

パネルディスカッション：「令和の依田勉三」応援シンポジウム

分科会：第1分科会「社会教育委員の役割」

第2分科会「家庭教育の充実」

第3分科会「地域で進める青少年教育」

第4分科会「シニア世代の社会参加」

第5分科会「地域の環境を生かす」

第6分科会「地域づくり」

③第61回全国社会教育研究大会（兵庫大会）

期 日：令和元年10月23日（水）～25日（金）

会 場：兵庫県神戸市

出 席：久田会長

研究主題：「多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践」

### 3. 各表彰関係

#### (1) 全国社会教育委員連合表彰

決定者	3名		
清里町	柳谷	克彦	氏
滝上町	岸	規子	氏
	井上	秀幸	氏

#### (2) 永年勤続功労社会教育委員表彰

決定者	10名		
網走市	黒田	幸市	氏
	成瀬	三津子	氏
清里町	谷澤	新一	氏
	加藤	彰祥	氏
	村上	静男	氏
遠軽町	木村	恵子	氏
	小玉	徹	氏
	藤田	琴絵	氏
	鏡	栄子	氏
大空町	原本	光枝	氏

### 4. 広報及び情報提供

- ・オホーツク社連協だより第59号 発行
- ・道社連協だより 送付
- ・社教連会報 送付

## 令和元年度収支決算

## [収入の部]

(単位:円)

科 目	令和元年度 予算額 A	令和元年度 決算額 B	増 減 (B-A)	説 明
市町村負担金	506,000	506,000	0	管内市町村負担金
助 成 金	100,000	100,000	0	道社連協(地区研修費)
雑 収 入	775	2	△ 773	預金利息
繰 越 金	74,225	74,225	0	繰越金
合 計	681,000	680,227	△ 773	

## [支出の部]

(単位:円)

科 目	令和元年度 予算額 A	令和元年度 決算額 B	増 減 (B-A)	説 明
事 業 費	400,000	257,613	△ 142,387	地区研修会助成、社会教育振興セミナー助成
旅 費	152,000	216,792	64,792	三役会議交通費、役員選考委員会交通費、全国社会教育研究大会旅費
印 刷 費	50,000	50,000	0	オホーツク社連協だより(第59号)
会 議 費	14,000	7,230	△ 6,770	役員会総会お茶代
事 務 局 費	50,000	37,740	△ 12,260	郵便切手購入、口座振込手数料 事務局消耗品
会 場 費	15,000	11,580	△ 3,420	役員会総会会場使用料
合 計	681,000	580,955	△ 100,045	

収入合計	支出合計	差引(繰越)
680,227円	580,955円	99,272円



## 監 査 報 告


オホーツク管内社会教育委員連絡協議会会則第9条6項の規定により、令和元年度の会計監査を次により実施したので報告します。

### 記

1. 監査実施月日 令和2年3月27日(金)
  
2. 監査結果 会計経理について、現金出納帳、預金通帳及び証拠書類等を監査した結果、適正に執行されていることを確認いたしました。

オホーツク管内社会教育委員連絡協議会

監事 本間文子 

監事 西川則行 

## 令和 2 年度活動方針（案）

現在、社会教育には多様化し複雑化する課題に対し、社会教育の自由で民主的な学習による解決を目指すとともに、「超スマート社会（Society 5.0）」や「人生 100 年時代」へしなやかに対応し、持続可能な社会づくりを進めることが求められています。

この社会づくりには、これまで当協議会が取り組んできた「人づくり・地域づくり・つながりづくり」が不可欠であり、この取り組みを今後一層促進するためには、「さらに開かれ・つながる」、「学びと活動の好循環」という視点がこれまで以上に重要です。

オホーツク管内の社会教育委員は、管内・各自治体において優れた活動を行い、社会教育の発展に寄与してきており、昨年 3 名の委員が全国社会教育委員連合表彰を受賞するなど、全国的にも高い評価を受けております。

当協議会では、住民の自己教育と相互教育・自由な学習活動の自立的発展という社会教育の基軸を大切に、管内はもとより全道・全国の仲間とも切磋琢磨し活動を行います。

本協議会は今年度、次の事項を重点に活動を展開します。

1. 管内社会教育の振興、生涯学習の推進に努める。
  - 常に現場に足を運び、見て、聞いて議論する。
  - 参考にしたい事例があれば、他市町村に出向いて意見交換を行う。
  - 委員間や職員、関係団体等とのコミュニケーションをより一層緊密にする。
  
2. 研修活動、情報交換活動を積極的に行い、社会教育委員としての資質の向上を図る。
  - 第 60 回 北海道社会教育研究大会（渡島大会）への参画
  - 管内社会教育振興セミナー、地区別研修会の開催
  - 『オホーツク社連協だより（第 60 号）』の発行
  
3. 時代の流れを見据えた組織の運営・充実を図る。
  - 役員・事務局体制の確立・適切な運営
  - 第 63 回 北海道社会教育研究大会（オホーツク大会）に向けた体制づくり

令和2年度事業計画（案）

1 各種会議等

(1) オホーツク管内社会教育委員連絡協議会関係  
令和2年5月11日 役員会（総会）

(2) 北海道社会教育委員連絡協議会関係

令和2年 4月17日 第1回理事会・通常総会（書面会議へ変更）  
令和2年 6月15日 第2回理事会 札幌市（かでの2・7）  
7月 6日 第3回理事会 札幌市（かでの2・7）  
10月 8日 第4回理事会 函館市  
令和3年 3月 第5回理事会 札幌市（かでの2・7）

2 研修事項

(1) 北海道社会教育委員連絡協議会・全国社会教育委員連合

①第40回北海道市町村社会教育委員長等研修会

期 日 令和2年7月6日（月）～7日（火）

会 場 札幌市（かでの2・7）

②第60回北海道社会教育研究大会（渡島大会）

期 日 令和2年10月8日（木）～9日（金）

会 場 函館市（函館市芸術ホールほか）

(2) オホーツク管内社会教育委員連絡協議会

①社会教育振興セミナー

期 日 令和2年 月 日（ ）

会 場 置戸町（※担当 北見地区）

②社会教育委員地区別研修会

【北網地区】令和2年 月 日（ ） 担当 斜里町

【遠紋地区】令和2年 月 日（ ） 担当 雄武町

3 各表彰候補者の推薦

○北海道社会教育委員連絡協議会

各市町村永年勤続功労社会教育委員表彰候補者推薦（10年以上）

○全国社会教育委員連合永年勤続功労表彰候補者推薦（7年以上、5名以内）

○オホーツク管内社会教育委員連絡協議会：役員功績者表彰（協議による）

4 広報及び情報提供

「オホーツク社連協だより」年1回発行（第60号）

5 令和5年度北海道社会教育研究大会（オホーツク大会）に向けての資金準備

標記大会開催に向けて資金を積み立てておく必要があるため、令和2年度より基金を創設する。

## 令和2年度収支予算(案)

## [収入の部]

(単位:円)

科 目	令和2年度 予算額 A	令和元年度 予算額 B	増 減 (A-B)	説 明
市町村負担金	506,000	506,000	0	管内市町村負担金
助 成 金	100,000	100,000	0	道社連協(地区研修費)
雑 収 入	728	775	△ 47	預金利息他
繰 越 金	99,272	74,225	25,047	繰越金
合 計	706,000	681,000	25,000	

## [支出の部]

(単位:円)

科 目	令和2年度 予算額 A	令和元年度 予算額 B	増 減 (A-B)	説 明
事 業 費	400,000	400,000	0	地区研修会助成(2地区) 社会教育振興セミナー助成
旅 費	144,000	152,000	△ 8,000	道社連協評議員等旅費、三役会議等交通費
印 刷 費	50,000	50,000	0	オホーツク社連協だより(第60号)
会 議 費	10,000	14,000	△ 4,000	会議お茶代
事 務 局 費	40,000	50,000	△ 10,000	郵便料金、口座振替手数料、 事務局消耗品等
会 場 費	12,000	15,000	△ 3,000	会議会場使用料
基金積立金	50,000	0	50,000	令和5年度北海道社会教育研究大会開催費
合 計	706,000	681,000	25,000	

## 役員改選について

### 役員選考内規（選考委員会）

1. 役員改選の前年度の役員会（総会）で実施を決定し、選考委員4名を選出する。
2. 上記の件にかかり実施する選考委員会では、会長候補者を選出する。
3. 副会長・監事候補者については、役員改選時の役員会（総会）で選考委員会を開催し選出する。

### ○現役員

役職名	氏名	市町村	地区	道社連協役員
会長	久田 誠	網走市	北網	理事
副会長	今 正一	紋別市	遠紋	評議員
	柳谷 克彦	清里町	北網	評議員
監事	本間 文子	大空町	北網	評議員
	西川 則行	遠軽町	遠紋	評議員

### ○新役員

役職名	氏名	市町村	地区	道社連協役員
会長	久田 誠	網走市	北網	理事
副会長	今 正一	紋別市	遠紋	評議員
	野瀬 容子	北見市	北網	評議員
監事	柳谷 克彦	清里町	北網	評議員
				評議員

※役員選定委員会からの次期役員候補者選出報告書

- ・会長 12ページ
- ・副会長／監事 13ページ

（未定の監事1名については、後日選出します。）

令和元年11月10日

オホーツク管内  
社会教育委員連絡協議会  
会長 久田 誠 様

オホーツク管内社会教育委員連絡協議会  
選考委員会 委員長 牛島 吉蔵

次期会長候補者選出結果について

令和元年5月13日及び令和元年11月10日に選考委員会を開催し、オホーツク管内社会教育委員連絡協議会の次期会長候補者について、次のとおり選出しましたので報告いたします。

記

次期会長候補者

久田 誠 氏 (現会長)  
網走市社会教育委員の会議議長

令和2年4月23日

オホーツク管内  
社会教育委員連絡協議会  
会長 久田 誠 様

オホーツク管内社会教育委員連絡協議会  
選考委員会 委員長 牛島 吉蔵

次期副会長・監事候補者の選出結果について

令和2年4月23日に選考委員会を開催し、オホーツク管内社会教育委員連絡協議会の次期副会長・監事候補者について、次のとおり選出しましたので報告いたします。

記

1. 次期副会長候補者（2名）  
今 正 一 氏  
（紋別市社会教育委員委員長）  
野 瀬 容 子 氏  
（北見市社会教育委員の会議委員長）
2. 次期監事候補者（2名）  
柳 谷 克 彦 氏  
（清里町社会教育委員委員長）

※未定の監事1名の選出については、新会長に一任いたします。

令和2年度オホーツク管内社会教育委員連絡協議会市町村負担金額表

	市町村名	令和2年度 市町村負担金額	令和元年度 市町村負担金額
1	北見市	37,000	37,000
2	網走市	37,000	37,000
3	紋別市	37,000	37,000
4	美幌町	27,000	27,000
5	津別町	27,000	27,000
6	斜里町	27,000	27,000
7	清里町	27,000	27,000
8	小清水町	27,000	27,000
9	訓子府町	27,000	27,000
10	置戸町	27,000	27,000
11	佐呂間町	27,000	27,000
12	遠軽町	27,000	27,000
13	湧別町	27,000	27,000
14	滝上町	27,000	27,000
15	興部町	27,000	27,000
16	西興部村	17,000	17,000
17	雄武町	27,000	27,000
18	大空町	27,000	27,000
	計	506,000	506,000

※参考

令和元年度オホーツク管内社会教育委員連絡協議会市町村負担金内訳

市 37,000円  
町 27,000円  
村 17,000円



## オホーツク管内社会教育委員連絡協議会会則

第1条 この会は、オホーツク管内社会教育委員連絡協議会と称する。

第2条 この会は、オホーツク総合振興局管内市・町・村の社会教育委員をもって構成する。

第3条 この会は、社会教育委員相互の連絡を図り、社会教育の振興・発展を図ることを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 社会教育に関する情報の交換
- (2) 社会教育に関する資料の収集
- (3) 社会教育に関する調査研究
- (4) 社会教育委員の研修
- (5) その他目的達成に必要な事業

第4条 この会に次の役員を置く。

会長	1名
副会長	2名
理事	13名
監事	2名

第5条 この会の役員は、次により選出する。

- (1) この役員は、各市町村社会教育委員会議が1名推薦する。
- (2) 会長・副会長・理事・監事は、役員会において互選する。

第6条 役員任期は2年とする。ただし、補欠により就任した役員は、前任者の残任期間とする。

第7条 北海道社会教育委員連絡協議会の役員は次のとおりとする。

- (1) 理事は、会長をもってあてる。
- (2) 評議員は、役員会において選出する。

第8条 この会に事務局を設置する。

2 事務局は、会長所在地に置き、庶務会計等をつかさどる。

第9条 役員任期は次のとおりとする。

- (1) 会長は、会の事務を掌握し会を代表する。
- (2) 会長は、役員会及びその他の会議を主催する。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は会長を代理する。
- (4) 副会長は、別表に掲げる各地域の連絡調整にあたる。
- (5) 理事は、この会と各地域及び各市町村社会教育委員会議との連絡調整にあたる。
- (6) 監事は、会計を監査する。

第10条 役員会は、総会に代わる決議機関として年1回以上開催し、会則の改正・予算及び決算の審議・役員改選・その他の重要事項について決議する。

第11条 この会の経費は、分担金・その他の収入をもってあてる。

第12条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附則 この会則は、昭和38年12月10日から施行する。

附則 この会則は、昭和53年5月15日から施行する。

附則 この会則は、昭和55年6月9日から施行する。

附則 この会則は、平成7年6月3日から施行する。

附則 この会則は、平成18年5月10日から施行する。

附則 この会則は、平成20年4月21日から施行する。

- 附則 この会則は、平成22年5月12日から施行する。  
 附則 この会則は、平成23年5月13日から施行する。  
 附則 この会則は、平成26年5月8日から施行する。

別表

地 域	市 町 村 名
北網地区	網走市、大空町、斜里町、清里町、小清水町 北見市、美幌町、津別町、訓子府町、置戸町
遠紋地区	遠軽町、佐呂間町、湧別町 紋別市、滝上町、興部町、西興部村、雄武町

オホーツク管内社会教育委員連絡協議会 事業ローテーション表

	斜網地区	北見地区	北見・斜網地区	遠軽地区	西紋地区	遠軽・西紋地区	社教振興セミナー	全道大会	
H9	網走市	訓子府町		遠軽町	紋別市		北見市		
H10	小清水町	置戸町		白滝村	興部町		北見市		
H11	東藻琴村	留辺蘂町		丸瀬布町	滝上町		北見市		
H12	斜里町	津別町		生田原町	雄武町		網走市		
H13				湧別町	西興部村		留辺蘂町	紋別市	
H14	清里町	美幌町		上湧別町	紋別市		佐呂間町		
H15	女満別町	端野町		佐呂間町	興部町		滝上町		
H16	常呂町	(北見市)		遠軽町	滝上町		北見市		
H17	(網走市)	訓子府町		白滝村	雄武町		網走市		
H18	全道大会と兼ねる			全道兼	西興部村		遠軽町	北見市	
H19	斜里町	置戸町	遠軽町	(紋別市)	紋別市				
H20	該当市町村		小清水町	該当市町村		興部町	北見地区 北見市		
H21	◆北見地区 北見市・訓子府町 置戸町・津別町 美幌町		津別町	◆遠軽地区 遠軽町・湧別町 佐呂間町		湧別町	斜網地区 清里町		
H22			網走市			雄武町	遠軽地区 湧別町		
H23			訓子府町			湧別町	西紋地区 紋別市・興部町 滝上町・雄武町 西興部村	西紋地区 西興部村	
H24			大空町			紋別市	北見地区 美幌町		
H25	◆斜網地区 網走市・大空町 斜里町・清里町 小清水町		置戸町	遠軽町	斜網地区 斜里町				
H26			小清水町	滝上町	遠軽地区 佐呂間町				
H27			北見市	佐呂間町	西紋地区 興部町				
H28			清里町	西興部村	北見地区 訓子府町				
H29			津別町	湧別町	斜網地区 網走市				
H30			大空町	興部町	遠軽地区 遠軽町				
R1			訓子府町	遠軽町	西紋地区 雄武町				
R2			斜里町	雄武町	北見地区 置戸町				
R3			美幌町	佐呂間町	斜網地区 小清水町				
R4			清里町	紋別市	遠軽地区 湧別町				
R5			北見市	湧別町	西紋地区 滝上町	オホーツク 管内			
R6			網走市	滝上町	北見地区 津別町				
R7			置戸町	遠軽	斜網地区 大空町				

